

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年7月4日
【事業年度】	第62期（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
【会社名】	株式会社建設技術研究所
【英訳名】	CTI Engineering Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 西村 達也
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋浜町三丁目21番1号
【電話番号】	03(3668)0451(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員管理本部長 松岡 利一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋浜町三丁目21番1号
【電話番号】	03(3668)4125
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員管理本部長 松岡 利一
【縦覧に供する場所】	株式会社建設技術研究所 大阪本社 （大阪市中央区道修町一丁目6番7号） 株式会社建設技術研究所 中部支社 （名古屋市中区錦一丁目5番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年3月26日に提出いたしました第62期（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

（1）連結経営指標等

第2 事業の概況

4 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（1）経営成績等の状況の概要

キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

（1）連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

- 1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に記載されている科目の金額の関係
- 2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
決算年月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月
< 省略 >					
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	779	671	752	912	<u>4,805</u>
< 省略 >					
現金及び現金同等物 の期末残高 (百万円)	16,684	20,527	22,589	19,654	<u>15,523</u>
< 省略 >					

< 注記略 >

(訂正後)

回次	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
決算年月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月
< 省略 >					
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	779	671	752	912	<u>5,658</u>
< 省略 >					
現金及び現金同等物 の期末残高 (百万円)	16,684	20,527	22,589	19,654	<u>14,670</u>
< 省略 >					

< 注記略 >

第2 【事業の状況】

4 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,131百万円減少し、15,523百万円となりました。

<省略>

投資活動の結果使用した資金は4,805百万円（前年同期比426.4%増）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入209百万円があった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,340百万円や有形固定資産の取得による支出850百万円があったことによるものであります。

<省略>

(訂正後)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,984百万円減少し、14,670百万円となりました。

<省略>

投資活動の結果使用した資金は5,658百万円（前年同期比519.8%増）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入209百万円があった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,167百万円や有形固定資産の取得による支出850百万円があったことによるものであります。

<省略>

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	843	850
有形固定資産の売却による収入	143	2
無形固定資産の取得による支出	127	102
投資有価証券の取得による支出	5	225
投資有価証券の売却による収入	111	94
貸付けによる支出	350	389
貸付金の回収による収入	255	209
出資金の払込による支出	50	75
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	² 3,340
関係会社の清算による収入	-	67
その他の支出	58	205
その他の収入	13	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	912	4,805
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	374
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,934	4,131
現金及び現金同等物の期首残高	22,589	19,654
現金及び現金同等物の期末残高	¹ 19,654	¹ 15,523

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	26
有形固定資産の取得による支出	843	850
有形固定資産の売却による収入	143	2
無形固定資産の取得による支出	127	102
投資有価証券の取得による支出	5	225
投資有価証券の売却による収入	111	94
貸付けによる支出	350	389
貸付金の回収による収入	255	209
出資金の払込による支出	50	75
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	² 4,167
関係会社の清算による収入	-	67
その他の支出	58	205
その他の収入	13	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	912	5,658
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	374
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,934	4,984
現金及び現金同等物の期首残高	22,589	19,654

現金及び現金同等物の期末残高	1	19,654	1	<u>14,670</u>
----------------	---	--------	---	---------------

【注記事項】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に記載されている科目の金額の関係

(訂正前)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金勘定	19,654百万円	15,523百万円
現金及び現金同等物	19,654	15,523

(訂正後)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金勘定	19,654百万円	15,523百万円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	—	852
現金及び現金同等物	19,654	14,670

2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

<省略>

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

株式の取得により新たに広建コンサルタンツ株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに当該会社株式の取得価額と取得のための支出(純額)との関係は次のとおりです。

(訂正前)

流動資産	3,025 百万円
固定資産	473
のれん	2,523
流動負債	477
固定負債	75
株式の取得価額	5,470
現金及び現金同等物	2,129
差引：取得のための支出	3,340

(訂正後)

流動資産	3,025 百万円
固定資産	473
のれん	2,523
流動負債	477
固定負債	75
株式の取得価額	5,470
現金及び現金同等物	1,302
差引：取得のための支出	4,167